

1. 奈良エリアの戦略的方向



「奈良ビギナー」に対し、「平城宮跡」において奈良の「歴史」のワクワク・ドキドキ感を伝える。

①ファン層拡大につながるターゲットの開拓

→ P.3

「奈良ビギナー」を開拓すべきターゲットとする

奈良ビギナーは

- 奈良の価値である「歴史」を、これから深く知り始める層
- 今後リピーターとなる可能性が高い層

戦略ターゲット① 学習旅行者

戦略ターゲット② 一般若年女性層

②新たな重要拠点

→ P.4

「平城宮跡」を奈良エリアのゲートウェイとする

③奈良の価値である「歴史」の再認識

→ P.4

奈良の「歴史」のワクワク・ドキドキ感を伝える

奈良時代は

- 国家としての日本の礎をついた時代
- 仏教を中心とした天平文化が開花した時代
- 東アジアとの積極的な国際交流が行われた時代

これらを単に「知識としての歴史」によって伝えるのではなく、この時代を生きた先人の「思い」や「気概」を基に、体感的・物語的に展開することによって、奈良の価値である「歴史」の再認識を図る。

2. 歴史ストーリーの作成

奈良の価値である「歴史」をわかりやすく伝えるため、この時代を生きた先人の「思い」や「気概」を基に歴史ストーリーを作成する。

奈良時代を彩る代表的な人物とエピソードの整理

→ P.9・10

奈良時代は、飛鳥時代などに比べ資料や記録が多く、様々な出来事や人物によるエピソードが多く残っている。歴史ストーリーを作成するにあたり、テーマ毎に代表的なエピソードについて、時代を追って概観。

■テーマ ●国家の確立 ●仏教の展開 ●東アジアとの国際交流

→ P.11

①エピソードの整理から見えてくる「テーマ間相互の関係性」や「国家形成期の政治構造」を踏まえ、主要人物にまつわるエピソードをつなぎ合わせて、各テーマを分かりやすく表現する

②明日香の歴史展示実施計画の手法を踏まえ、テーマにふさわしい歴史上の人物を選定し、これらの人物が語り部となって歴史ストーリーを物語る

通史	国家の確立	仏教の展開	東アジアとの国際交流
語り部：太安万侶	語り部：藤原仲麻呂	語り部：行基・良弁	語り部：吉備真備

人物を中心とするテーマストーリーの展開

→ P.27～102

(例)	テーマ	章	中心人物
	国家の確立	第1章 平城京遷都	粟田真人 ～平城京遷都の演出家～
	仏教の展開	第1章 平城京遷都と仏教	道慈 ～奈良仏教の殿堂・大安寺～
	東アジアとの国際交流	第1章 文化の直接輸入	阿倍仲麻呂 ～朝衡と呼ばれた官人～

3. 歴史展示コンテンツ展開

①平城宮跡での歴史展示展開方向

→ P.107

劇場型映像展開

- 奈良の歴史の全体像を短時間でわかりやすく理解してもらうため、劇場型装置を活用



携帯型端末による展開

- 携帯型端末を活用して、宮跡内の案内と、関連する歴史エピソードなどを組み合わせたコンテンツを提供



②戦略ターゲットに向けた歴史展示展開方向

学習旅行パックによる展開

→ P.108

- 学校旅行等における歴史の学習を効果的に実施するため、映像・体験ツール(木簡・衣装など)を製作して事前に提供
- 歴史展示コンテンツを活用して映像を製作するとともに、事後学習を補助するためのワークシート等も作成

